

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算説明会資料



株式会社日本動物高度医療センター（東証グロース：6039）

2024年11月19日

- 1.2025年3月期第2四半期（中間期）決算説明
- 2.当社グループの成長戦略
- 3.トピックス
- 4.質疑応答

1.2025年3月期第2四半期（中間期）決算説明

2.当社グループの成長戦略

3.トピックス

4.質疑応答

2025年3月期第2四半期（中間期）は、第1四半期に引き続き

売上高、各利益共に前年同期を上回り推移

<グループ概況>

- ・売上高2,569百万円 前年同期比 29.6%増、営業利益350百万円 前年同期比 119.6%増
- ・【既存病院】川崎、東京、名古屋のいずれも初診数、総診療数は継続して前年同期を上回り増加
- ・【新規病院】大阪は5月に単月黒字化し全体収益に貢献開始
初診数拡大と共に、放射線治療も順調に推移

- 二次診療サービスが前年同期から510百万円増となり拡大
- 売上高の拡大が人件費などのコスト増加をカバーし、各利益は前年同期比で2倍以上の増益に

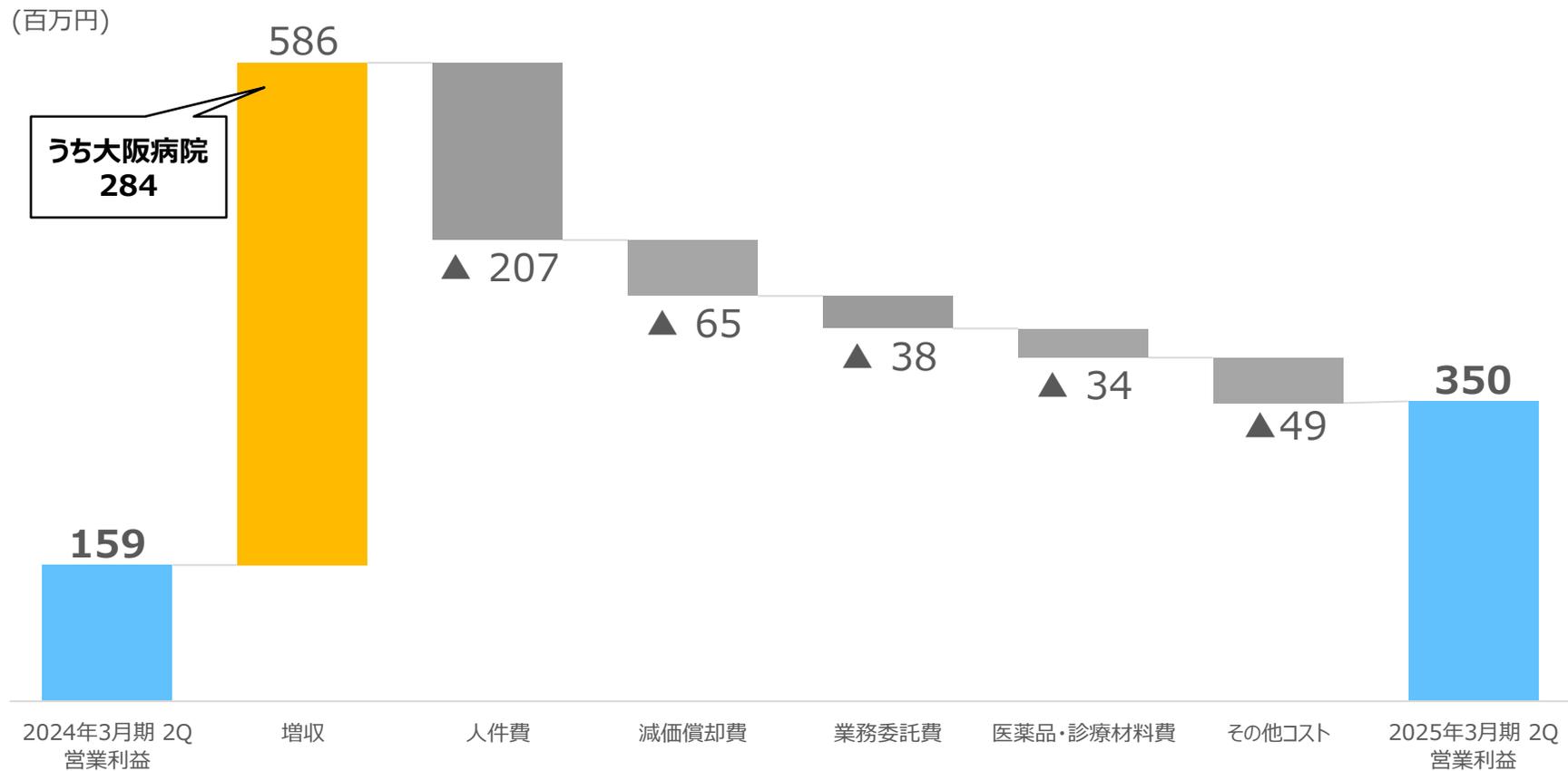
(百万円)	2024年3月期			2025年3月期				
	2Q累計実績	進捗率	通期実績	2Q累計実績	前年同期比		進捗率	通期計画
売上高	1,982	46.4%	4,270	2,569	+586	+29.6%	53.3%	4,820
二次診療サービス	1,327	45.5%	2,917	1,837	+510	+38.4%	-	-
画像診断サービス	258	47.8%	539	267	+8	+3.4%	-	-
健康管理機器レンタル・販売	392	48.7%	806	459	+67	+17.1%	-	-
売上原価 + 販管費	1,822	48.2%	3,773	2,218	+395	+21.7%		
営業利益	159	32.1%	496	350	+191	+119.6%	56.1%	625
経常利益	152	31.0%	489	351	+199	+131.3%	56.3%	625
親会社株主に帰属する 中間純利益	97	28.9%	337	242	+145	+148.4%	55.2%	440
1株当たり 中間純利益	35.6円	-	123.0円	93.5円	+57.9円	+162.7%	-	169.8円

バランスシートの状況

(百万円)	2024年3月期	2025年3月期 2Q	前期末比
流動資産	1,777	1,415	▲361
現預金	1,337	928	▲409
売掛金	297	307	+10
商品及び製品	74	90	+16
固定資産	6,992	7,146	+153
有形固定資産	6,151	6,323	+171
無形固定資産	548	517	▲30
総資産	8,770	8,561	▲208
負債	4,958	4,691	▲267
有利子負債	3,856	3,815	▲40
純資産（株主資本）	3,811	3,870	+59
自己株式	▲410	▲553	▲143
負債純資産合計	8,770	8,561	▲208

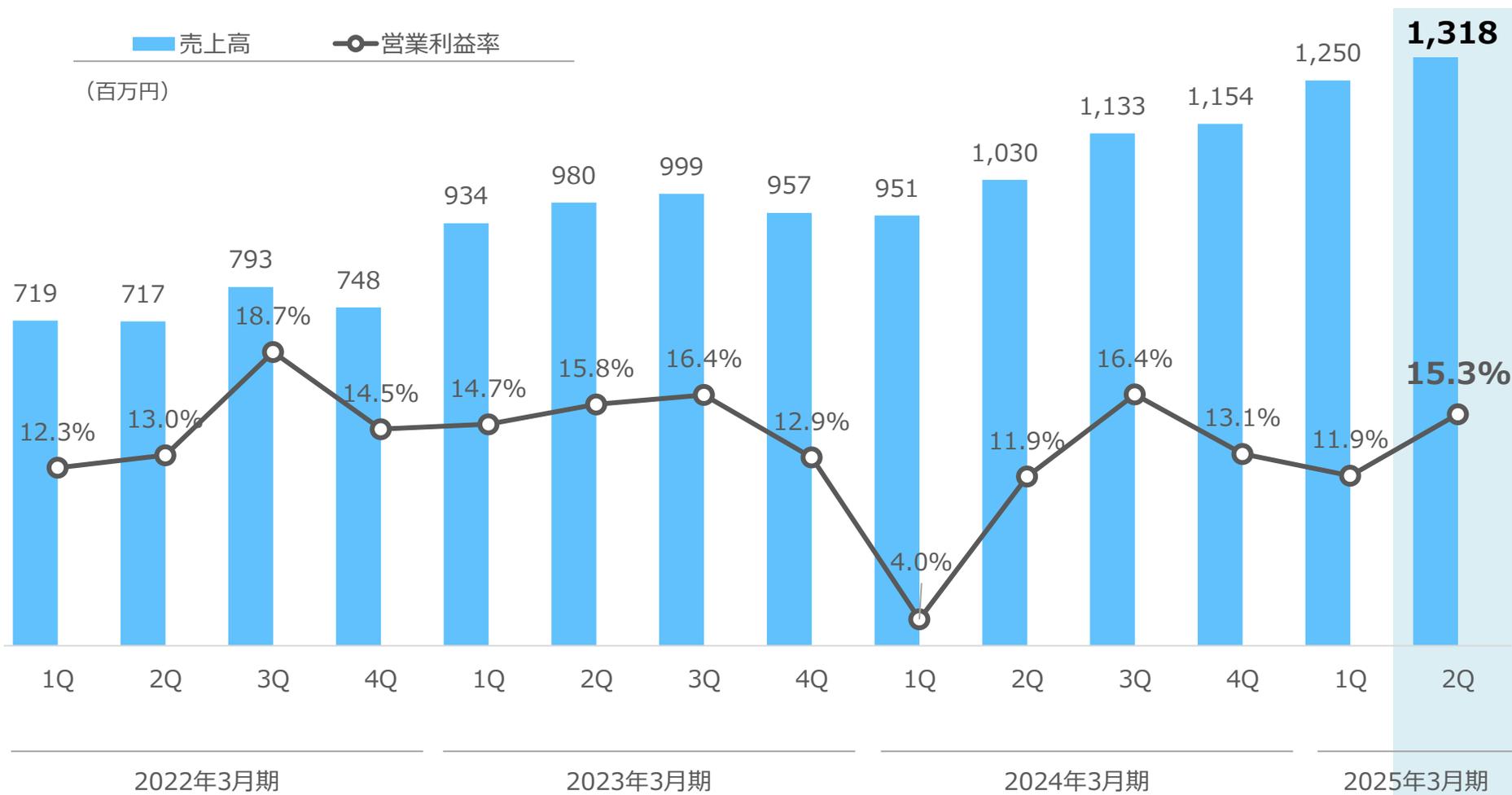
営業利益増減要因

- 人員増に伴う人件費や業務委託費、減価償却費等が増加したものの、増収によりコスト増をカバーし、営業利益は前年同期比で119.5%の増加



四半期決算 業績推移

- 第2四半期は、5四半期連続で四半期売上高の過去最高を更新
- 営業利益率も第1四半期から3.4ポイント改善し15.3%となる



・2023年6月開院

・診療科：

循環器科、呼吸器科、泌尿生殖器科、消化器科、脳神経科、整形外科、
腫瘍科、血液内科、集中治療科、麻酔科、放射線科、画像診断科



◆ 2024年5月より放射線治療を開始（川崎本院に次いで2拠点目）

新型放射線治療器「RADIXACT」を、日本の動物医療では初の導入

- ・これまで放射線治療が難しいとされてきた腫瘍にも治療が可能
- ・従来の治療法に比べて副作用が少ない

◆ 2024年5月に単月黒字化を達成し順調に拡大

関西エリアでの連携病院の獲得と、診療体制と放射線治療が軌道にのり順調に拡大

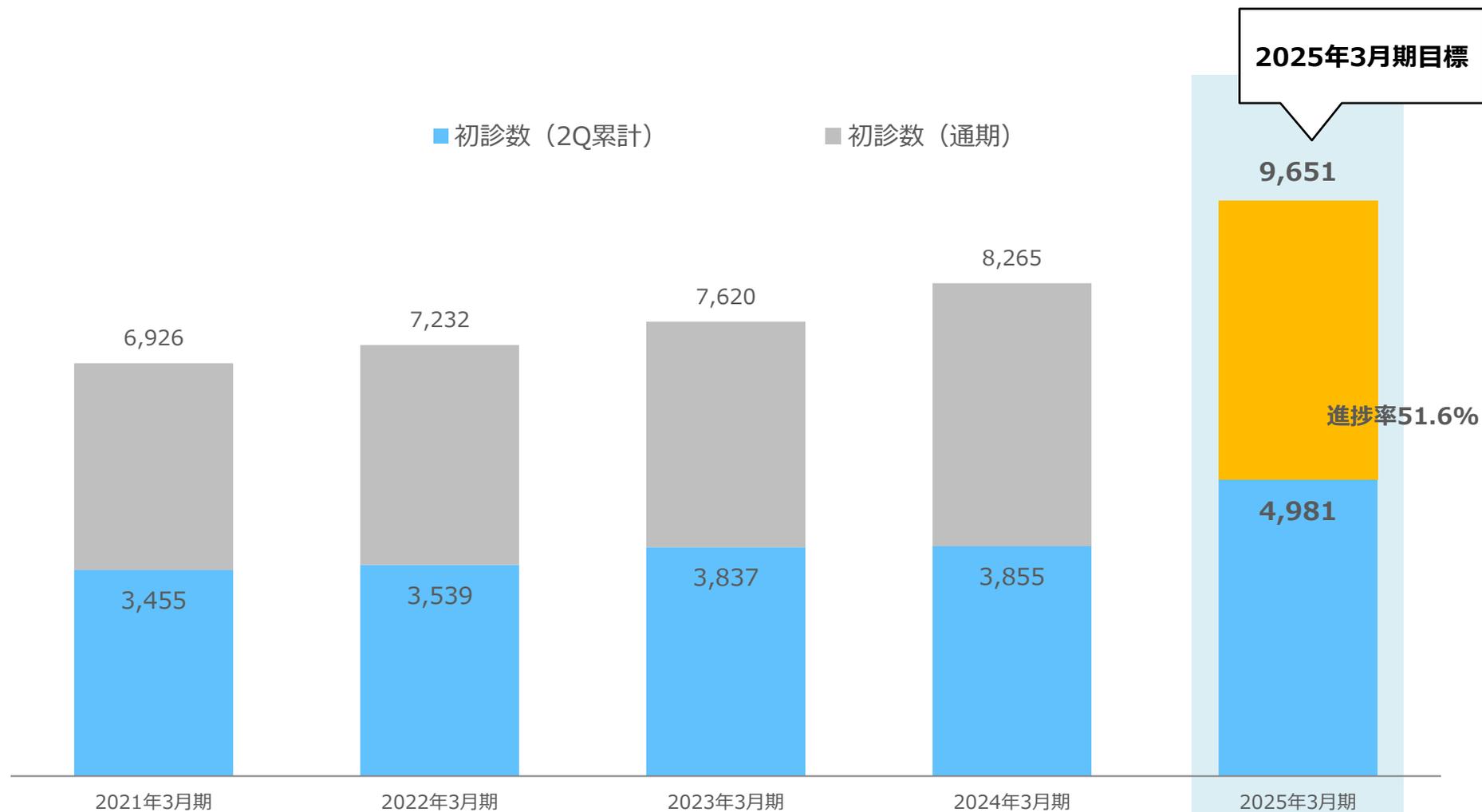
◆ 大阪病院開院から1年超、広報活動として計4回のセミナー開催

関西エリアの一次診療施設向けにセミナーを開催、当社への理解をいただくため症例報告を中心に紹介
その結果、関西エリアでの連携病院数の拡大と知名度が向上し、初診数の獲得につながる



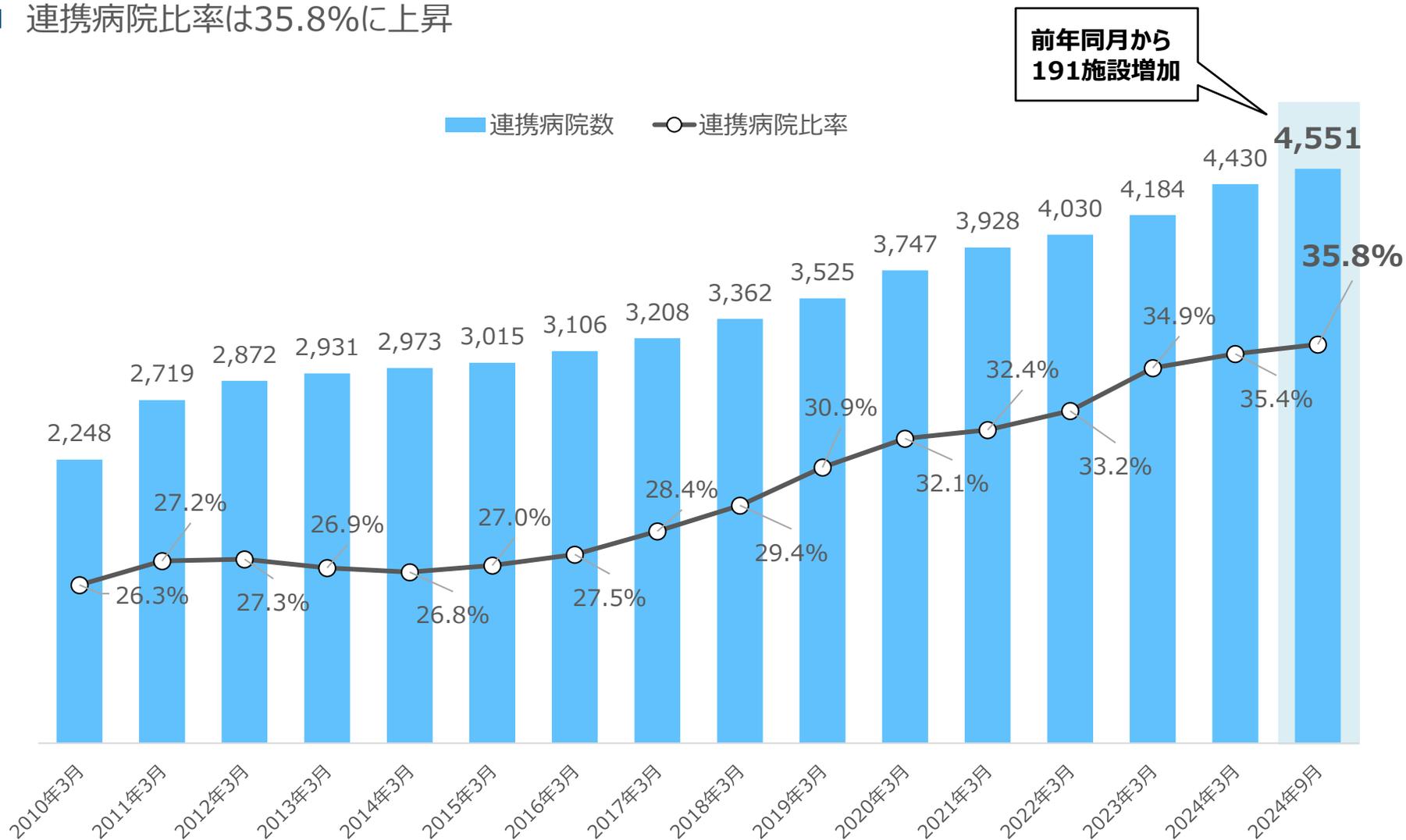
事業KPI：初診数（紹介数）の推移

- 既存・新規共に順調に推移、特に大阪は前年同期比で3倍に拡大



事業KPI：連携病院数の推移

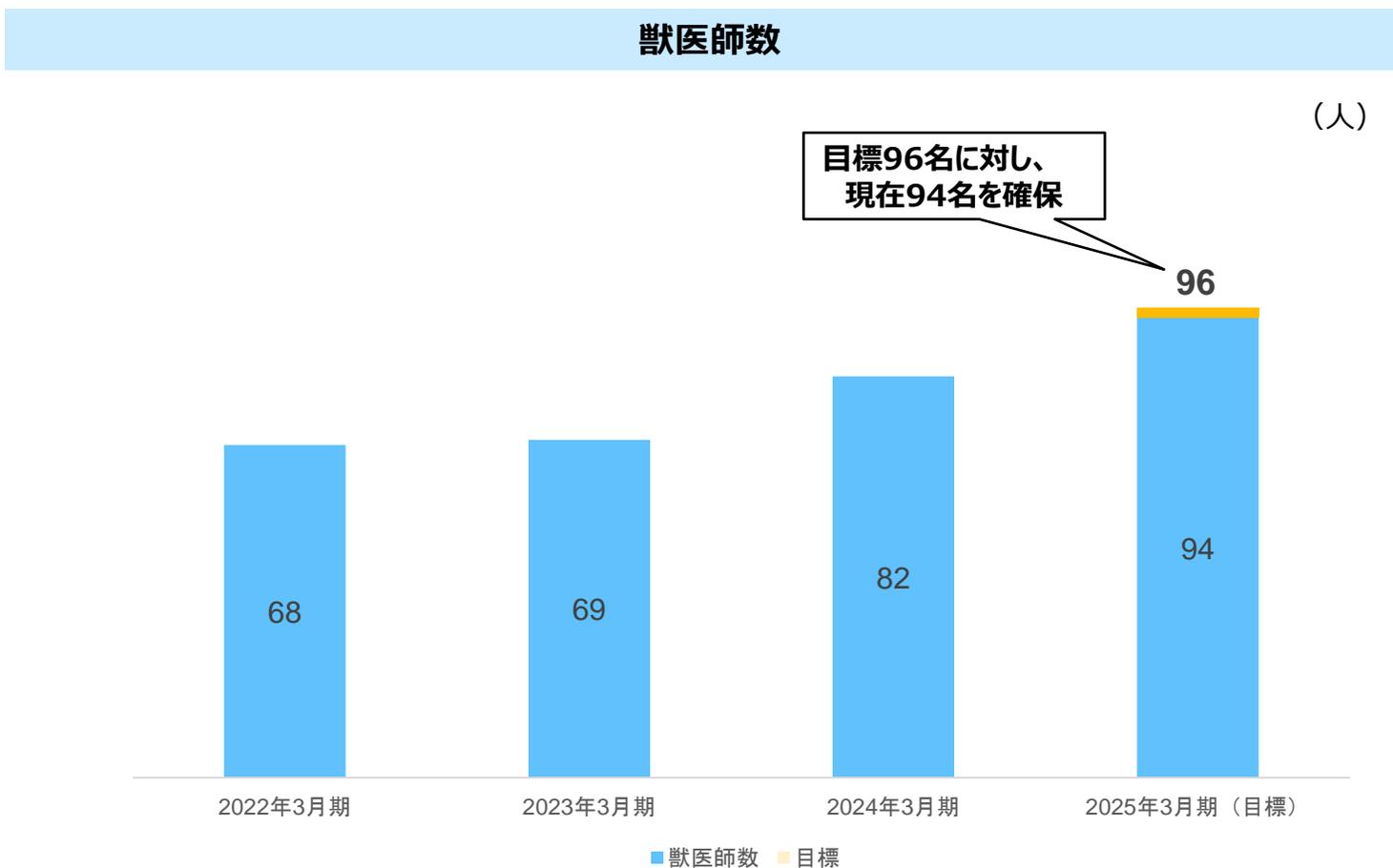
- 2024年9月末の連携病院数は前年同月から191施設増加し、初診数の増加に寄与
- 連携病院比率は35.8%に上昇



*連携病院比率は農林水産省（令和5年12月末時点の小動物診療施設の件数）の開設届出数をもとに算出

事業KPI：獣医師の採用状況

- 2025年3月期2Q終了時点での獣医師数は94名



- 1.2025年3月期第2四半期（中間期）決算説明
- 2.当社グループの成長戦略
- 3.トピックス
- 4.質疑応答

①

一次診療施設からの紹介数の拡大

ポイント：連携病院数・診療エリアの拡大、顧客満足度の向上

→既存病院で連携病院数の拡大や大阪病院をモデルとした診療エリアの拡大など

②

診療キャパシティの拡大

ポイント：獣医師数の確保、診療体制の強化・拡大

→計画的な獣医師採用や業務の効率化、設備補強、施設拡大など

③

グループ連携の強化

ポイント：テルコム、キャミックの成長、グループ間連携

→上記①②にも寄与するグループ間の連携によるシナジー効果など

当社の優位性と業界比較

- ニーズが拡大する二次診療分野において、(有形・無形の) **資本力、対応力、総合力**で優位性を有する
- これが**高い顧客満足度** (※)、**診療数の拡大** につながっている (※ 顧客 = 連携病院、飼い主様)

病院の区分	JARMeC	獣医科大学病院	単科二次診療施設
休診日	年中無休	土日祝・夏季・年末年始休業	365日営業が難しい
診療科数	12	10~19	1
診療の特徴	資本力・対応力・総合力で優位	学生教育・研究に重点 急患対応が難しい など	総合的な対応が難しい 大型投資が難しい など

理由

365日、かかりつけ医のすぐそばにいる高度医療チーム

(有形・無形の) 資本力

- ・最先端の医療設備、資金調達力
- ・独自に培ってきた、優れた無形資産

上場企業の信用力
優れた医療設備
最先端の診療機器

実績とナレッジの蓄積
専門性とチームワーク
連携病院との信頼関係

対応力

- ・年中無休、柔軟な受入体制
- ・高度な技術とホスピタリティ

12の専門診療科
高度な獣医療技術
積極的な臨床研究

年中無休
迅速な急患対応
高いホスピタリティ

総合力

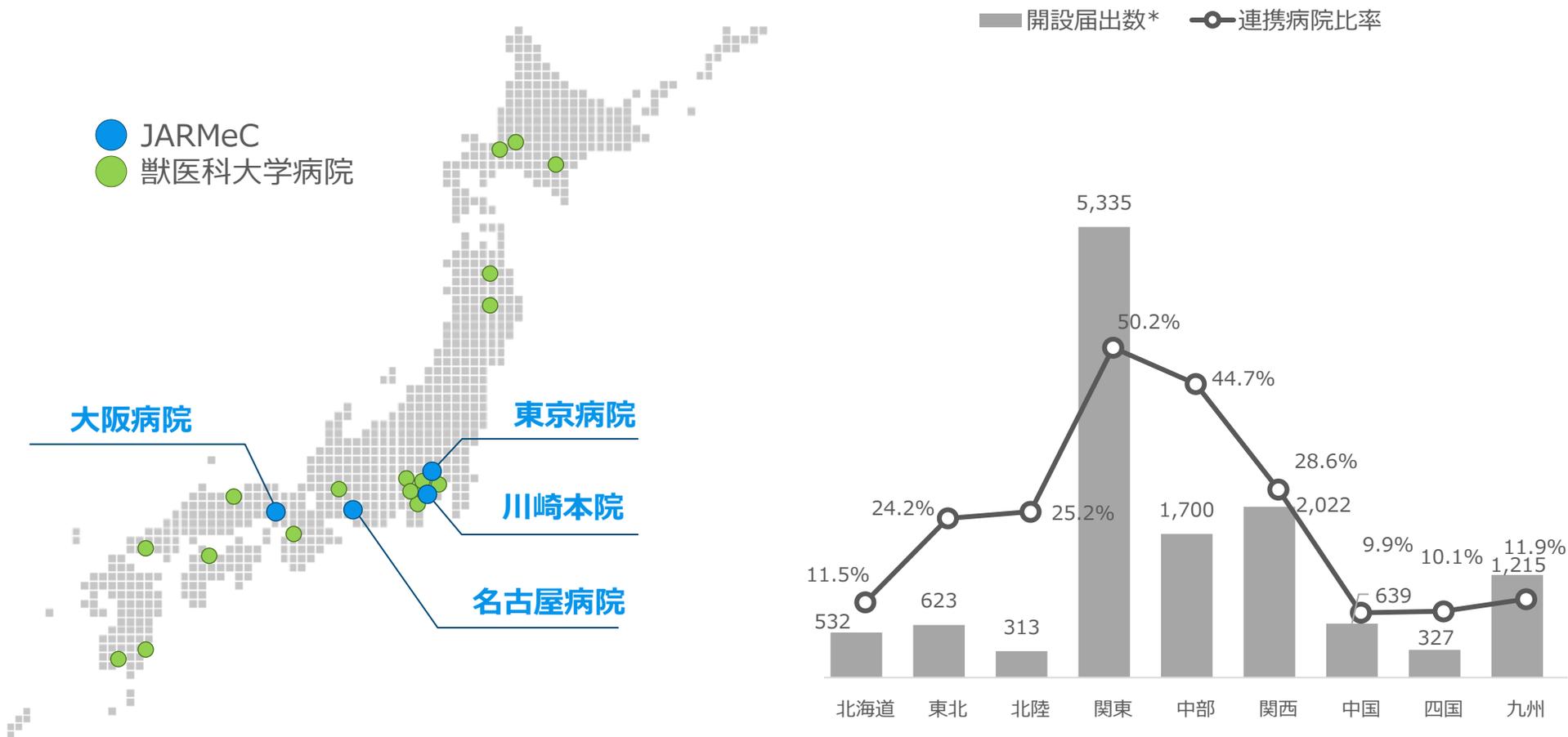
- ・チームによる総合診療体制
- ・かかりつけ医との緊密な連携

複数診療科での
チームによる
総合診療体制

かかりつけ医との
緊密な連携と
情報共有

現在の拠点とエリア別状況展開

- 現在は関東に川崎本院・東京病院、中部に名古屋病院、関西に大阪病院の4拠点を展開
- 開設届出数（一次診療施設数）の多いエリアへの展開を検討中

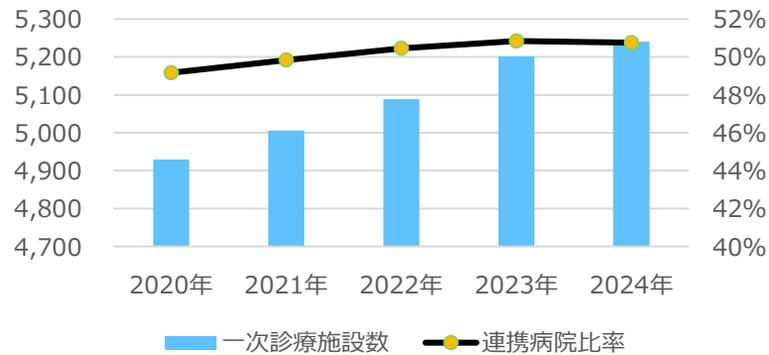


*開設届出数は農林水産省（令和5年12月末時点の小動物診療施設の件数）

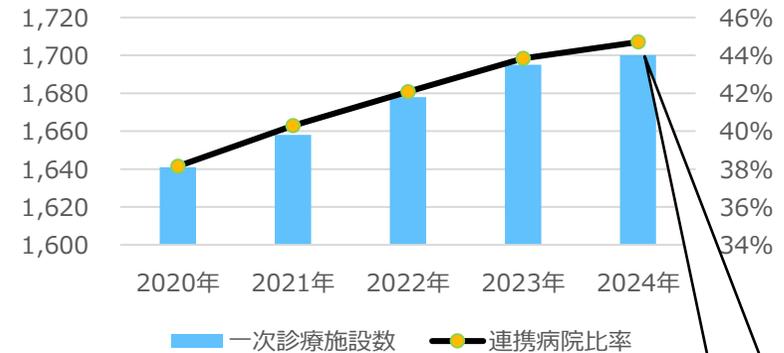
エリア別でみた連携病院比率

- 川崎・東京病院エリアでは連携病院比率は50%を超える→2つの病院で連携先を安定的に拡大
- 名古屋病院エリアの連携病院比率は継続的に伸びる→さらなる成長を目指す
- 大阪病院エリアでは拠点開設の直前から急激に連携病院比率をアップ→連携先の拡大を継続

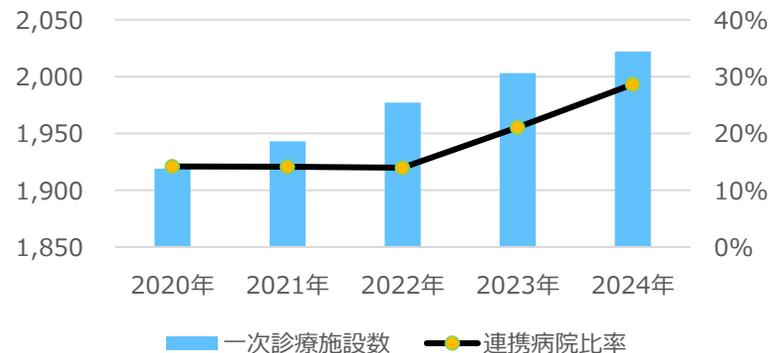
川崎・東京病院エリア



名古屋病院エリア



大阪病院エリア



連携率が
伸び続けている

*一次診療施設数は農林水産省（小動物診療施設の件数）の開設届出数をもとに算出

株式会社キャミック

- ・日本初のMRI、CTによる動物検診センターとして2005年開業
- ・一次診療施設からの完全紹介制
- ・首都圏3ヶ所（東京都世田谷区、東京都江戸川区、埼玉県さいたま市）で画像診断サービスを提供
- ・年間6,500件以上の画像診断の実績

最新のニュース



動物検診センター
キャミック

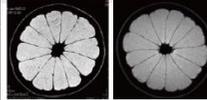
📍 キャミック城南

AI搭載 新型MRI導入

AI(ディープラーニング技術)を用いた
ノイズ除去再構成技術を搭載した
超伝導 1.5 テスラ DLR-MRI「Canon Vantage Fortian
〜ヴァンテージ フォルティアン〜」を導入
高精細化による診断能向上と
撮像時間の短縮が可能となりました。



画像見本 (T2WI) ※AI補正あり



グレープフルーツでの比較画像

新しい機器の特徴

- 獣医療界初のキャノン新開発 AI 技術「PIQE」搭載
- AI 技術による短時間撮像を実現 (3.0T MRI 以上の撮像 / スピンドを再現 ※当社比)
- ゴア径 大型 71cm 超大型犬も対応可能
- マイクロチップアーティファクトを大幅に軽減 (他機種以上の軽減 ※当社比)

(左) キャノン超伝導 1.5T Fortian
(右) 当社導入 超伝導 3.0T
※いずれも撮像時間 2 分程度の同等条件

テルコム株式会社

- ・酸素ハウス（酸素濃縮器と専用ケージ）のレンタル及び販売
- ・主に飼主様向けにレンタル、一次診療施設向けに販売を行う
- ・全国に3営業所（神奈川県横浜市港北区、大阪府大阪市福島区、福岡県福岡市博多区）、5か所の特約店及び24か所の代理店
- ・全国約5,500以上の病院で利用の実績

最新のニュース



ペットの在宅ケアに

ペット用酸素ハウス®

お部屋の空気から、高濃度の酸素をつくり出す酸素濃縮器と酸素をためるケージを組み合わせてペットの酸素吸入を助けます。

IoT
モニタリング
機能

軽量

静音

低消費
電力

テルコム社製「ペット用酸素ハウス®」3つの特徴

- 酸素濃縮器** 空気から酸素以外の成分を取り除くことで、高濃度酸素を生成しています。ポンベと違い、酸素がなくなることはありません。
- 専用ケージ** 流量が多いので、ケージの中に酸素を供給しながらペットが吐き出した二酸化炭素をケージの中から押し出し、換気できるように作られています。
- 操作方法** テルコムの酸素ハウスは、器機とケージをホースでつないでスイッチを入れるだけで簡単に利用開始できます。



NEW

軽量化 約16kgまで軽量化(従来品は23kg)

静音性 45dB以下まで下がりました。

消費電力 従来品より31%削減

Pick up!
新型器には「IoTモニタリング機能」を搭載。遠隔操作により弊社側で酸素濃度をモニタリングし、器械の状態を把握できます。器械の性能低下を把握できるので、適切なタイミングで器械交換が可能となります。

動物検診センターキャミック

営業時間
9:00 ~ 18:00 (3施設共通)

キャミック城北

埼玉県川口市有馬区南平塚2-1-5
TEL 048-606-3732

キャミックひがし東京

東京都江川区東東馬場4-10-6
TEL 03-6808-2139

キャミック城南

東京都世田谷区西馬場4-19-12
TEL 03-5752-5033



公式 SNS はじめました!

最新情報・検査の様子・各センターでの取り組みなどを発信します。ぜひフォローをお願いします!



テルコム株式会社

TEL 9:00 ~ 18:00 (3営業所共通)
TEL 0120-326-002

テルコム横浜

TEL 045-947-2903
神奈川県横浜市港北区新吉田東 8-27-20

テルコム大阪

TEL 06-6460-7007
大阪府大阪市福島区白野 4-15-2

テルコム福岡

TEL 092-408-8021
福岡県福岡市博多区新洲 1-7-22
アルファージュ1階



terucom.co.jp

1.2025年3月期第2四半期（中間期）決算説明

2.当社グループの成長戦略

3.トピックス

4.質疑応答

関東・東京合同地区獣医師大会にて 学会長賞・奨励賞を9年受賞

日本獣医師会が主催する大会で、会員のおよそ半数が所属する地区の学術学会において、今年も受賞（9回目）



2013年度	 胸腺腫の猫に見られた剥脱性皮膚炎の1例	
2014年度	 肺吸虫感染の犬の1例	
2015年度	 腎瘻チューブ設置後に腎切開による結石摘出を行った犬の1例	
2016年度	 プレドニゾロンが奏効した猫消化管好酸球性硬化性線維増殖症の3例	
2017年度	 ガイドワイヤーの使用により尿路確保が可能となった尿道異常の4例	
2018年度	 外科的治療により長期生存している肝外胆管癌の猫の2例	
	 硬化性胆管炎が疑われた犬の1例	2題受賞
2019年度	 前腕の広範囲皮膚欠損創に遊離全層植皮術を実施した犬の2例	
	 肝管空腸吻合を行った肝外胆管閉塞の猫の2例	2題受賞
	 巨大な犬の原発性肺腫瘍に対する肋間開胸と横切開旋回開胸の比較	中部地区も受賞
2020年度～	コロナ禍による行動制限の影響あり	
2023年度	 稀な発作徴候を示し脳波検査によりてんかんと診断した犬の2例	
2024年度	 卵巣遺残を疑診したラグドール種の猫で留意する点	

動物臨床医学会にてAwardを受賞



大阪で毎年開催される国内最大級の獣医系学会である動物臨床医学会年次大会において、昨年発表した演題が表彰を受ける

「腫瘍分科会Award」
長期経過後に肺転移した肝細胞癌の犬の2例

「消化器分科Award」
幽門狭窄に対してY-U幽門形成術を実施した猫の2例

JARMeC 第4回大阪病院セミナーを開催



第4回 JARMeC 大阪病院 セミナー

ハイブリッド開催

11月13日(水) 20:00-22:00 (開場 18:30-) 19:00- 院内ツアー

内容: こんな異常をみつけたら消化器科へ! ~低Albと黄疸~

どんなときに消化器科紹介すべき?

044-850-1320 JARMeC 大阪病院



- ・関西エリアでの広報活動としての獣医師向けセミナー
- ・JARMeCでの症例報告を中心とした内容で過去3回開催
- ・今回はその締めくりとなる第4回目
- ・院内の会場とZoomによるハイブリッド式セミナー
- ・当日は会場参加の方向けに「大阪病院 院内ツアー」実施
- ・関西エリアから多数の獣医師が参加

「JARMeC NEWS」vol.19を発刊予定



JARMeC NEWS 2024 WINTER vol.19

症例紹介

写真: JARMeC



写真はVol.18のものです

- ・全国の一次診療施設や動物医療従事者向けに情報誌として発行
- ・所属獣医師による症例紹介のほか、JARMeCグループの最新情報を掲載
- ・最新号vol.19は12月に発刊予定
- ・情報を発信することでネットワークを広め、JARMeCへのご理解をいただくと共に、病院間の連携を強めていく

[前号の「JARMeC NEWS vol.18」はこちらからご覧になれます](#)

「動物愛護フェアかわさき2024」にブース出展



- ・「動物愛護フェアかわさき2024」
動物の愛護と適正な取扱いについて市民の理解と関心を深めることを目的として川崎市と川崎市獣医師会が共催
- ・動物愛護セレモニー、聴導犬の実演、ペットの防災コーナー、獣医さん体験、ワークショップ、保護犬・保護猫の紹介、市民向けセミナーなどが催された
- ・JARMeCは犬猫の活動量を可視化し体調の異常を早期発見につながる「PLUS CYCLE」のPRと共に、犬と猫の供血に関する広報活動を実施

お散歩ナビサービス「ALKOO with わんこ」を共同開発し、10月よりサービスを提供開始

わんこのためのお散歩ナビ
ALKOO
with わんこ

共同開発



- ・お散歩ナビサービス「ALKOO with わんこ」
ペットオーナーの行動変容によるペットの健康増進に向け、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と株式会社ナビタイムジャパンとJARMeCが共同開発
- ・本サービスはあいおいニッセイ同和損保が販売するペット保険「ワンにゃんdeきゅん」※1の付帯サービスとして、2024年10月よりご契約者にサービス（基本使用料無料）の提供を開始

※1 あいおいニッセイ同和損保が2023年1月に販売を開始した、ペットのケガや病気に備えるペット保険

2025年3月期の見通し

- 2Q累計実績の進捗率は、売上高で53.3%、営業利益・経常利益共に56%超と順調
- 営業利益率も計画を上回って推移

(百万円)	2025年3月期			2Q累計実績	進捗率
	通期計画	前年比			
売上高	4,820	+549	+12.9%	2,569	53.3%
営業利益	625	+128	+25.8%	350	56.1%
営業利益率	13.0%	-	-	13.7%	-
経常利益	625	+135	+27.6%	351	56.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	440	+102	+30.5%	242	55.2%

- 1.2025年3月期第2四半期（中間期）決算説明
- 2.当社グループの成長戦略
- 3.トピックス
- 4.質疑応答

＜見通しに関する注意事項＞

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

＜お問い合わせ先＞

株式会社日本動物高度医療センター
管理部 経営企画課 IR担当
044-850-1320
e-mail : ir@jarmec.jp